



# たしはな

一般社団法人  
日本ボーイスカウト  
静岡県連盟

〒420-0068  
静岡市葵区山崎1丁目70-1  
(静岡県青少年会館内)

## 第25回世界スカウトジャンボリー 日本派遣団B分団 静岡1・2隊 結隊式



第25回世界スカウトジャンボリー結隊式(5頁)



伊豆地区ラリー(6頁)



藤田電気株式会社 代表取締役  
藤田 良彦 氏(8頁)



JOTA 熱海 臨時体験局運用(10頁)

## CONTENTS

|                            |                             |
|----------------------------|-----------------------------|
| 年頭のご挨拶.....2               | ビーバーだより、カブつうしん.....12       |
| 静岡県連盟 連盟長 川勝 平太 氏          | ボーイ通信、指導者だより.....13         |
| 静岡県連盟 理事長 村松 武博 氏          | 富士スカウト章受章おめでとう.....14       |
| 日本連盟100周年記念式典に参加して.....4   | 静岡第14団 ベンチャースカウト 小森 聡太郎     |
| 第25回世界スカウトジャンボリー結隊式.....5  | 「友情章」おめでとう7名の仲間.....14      |
| 笑顔が美しい 地区ラリー(伊豆地区).....6   | 大仁第1団 令和4年度青少年団体等の顕彰.....15 |
| 第10回 若き指導者.....7           | マスコミコーナー.....15             |
| 第3回 松田 茂の人物訪問.....8        | お知らせコーナー.....16             |
| 藤田電気株式会社 代表取締役 藤田 良彦 氏     |                             |
| アマチュア無線 JOTA臨時体験局運用.....10 |                             |
| 令和4年後半 受章者の紹介.....11       |                             |

令和5年1月  
第170号



## 年頭所感

一般社団法人  
日本ボーイスカウト静岡県連盟 連盟長

川 勝 平 太

明けましておめでとうございます。

日本ボーイスカウト静岡県連盟の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、日本連盟創立100周年記念大会として「第18回日本スカウトジャンボリー」が開催されました。分散会場の一つである、本県の「三島市立箱根の里」でのジャンボリーは新型コロナウイルス感染症の感染急拡大を受け中止となってしまいましたが、その後、各地区、各団において、それぞれのジャンボリーの企画、実施に積極的に取り組んでいただきました。

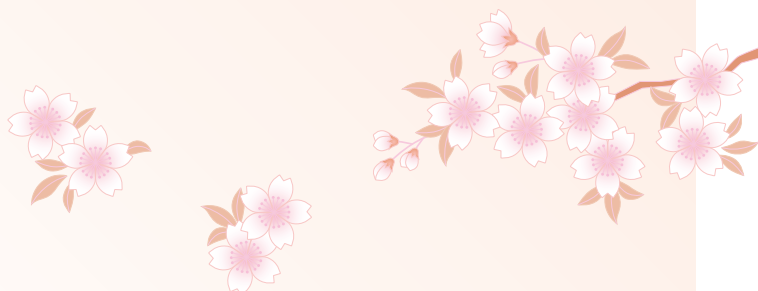
皆さんの熱意と創意工夫がある限り、スカウト活動の灯が絶えることはありません。困難を乗り越え、次の目標に向かって日々邁進するスカウトの皆さんを誠に頼もしく、誇りに思います。また、今回の経験から学んだことは今後の活動に必ず生きてくることと思います。

準備に当たった関係者の皆様をはじめ、スカウトの皆さんには、改めて感謝申し上げます。

さて、本年は韓国において「第25回世界スカウトジャンボリー」が開催されます。静岡県連盟からも派遣を予定しており、スカウトの皆さんにとって実りのある大会にさせていただき、本年も活躍されることを祈念しております。

本県は、「美しい“ふじのくに”」の未来を担う「有徳の人」の育成に向け、自らの個性に応じて「才」を磨き、自他を大切にしながら「徳」を積み、社会や人のために貢献する「才徳兼備」の人づくりを進めております。静岡県連盟の活動を通じて、一層のお力添えを賜いますよう、お願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の御挨拶といたします。







## 年頭所感

一般社団法人  
日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事長

### 村松 武博

あけましておめでとうございます。

さあ、この新しい年をどんな年にしましょう。

みなさんはどんなことを考えていますか。

今年の夏は、お隣韓国で第25回世界スカウトジャンボリーが開催されます。

静岡県連盟からも、私たちの仲間の80人のスカウトと指導者、運営に当たる5人のスカウトが参加をします。

世界中のスカウトが一堂に集まり、笑顔で楽しめるジャンボリーです。

世界ジャンボリーに参加することは、とても楽しい、素晴らしい体験になるはずです。

でも、世界は新型コロナウイルス感染症で大変な目にあっています。

国と国とが戦っていたり、国の中で戦っているところもあります。

世界のボーイスカウト運動は平和を目指す運動です。

”Creating a Better World”「より良き社会の創造」を世界共通のヴィジョンとして掲げています。

世界ジャンボリーに参加するスカウトも、そうではないスカウトも、ぜひ、このようなことを考えながら、ジャンボリーを通して世界を見てほしいと思います。

去年は日本連盟創立100周年でした。

11月26日に、東京の明治神宮会館に天皇皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、内閣総理大臣、文部科学大臣、国会議員連盟副会長など多くの来賓を迎え、記念式典が行われました。天皇陛下は、昭和の時代からジャンボリーにはいつもおいでになり、「その経験は得難いものである。」とのお言葉をいただきました。

代表スカウト3名は、「これからの100年、明日の社会は我々若い世代がつくっていく。ちかとおきてをベースに、より良い世界を作るのがボーイスカウトのミッションだ。」と力強く決意を述べました。

もっともっとたくさんの人たちに仲間になってもらい、よりよい社会のために貢献しましょう。今年もスカウトの活動を楽しみましょう。

## ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典に参加して 明治神宮会館に 天皇、皇后両陛下 のご臨席賜る

三島第5団 ボーイ隊 隊長 酒井 和人

県連代表の引率指導者として、記念すべき100周年式典に参加させていただきました。明治神宮会館の厳重な警備の中、オープニングで100周年の足跡の動画を視聴し、式典が始まりました。式典には、天皇陛下・皇后陛下をはじめ、内閣総理大臣や文部科学大臣がご臨席され、あらためてボーイスカウトの位置付けを実感いたしました。100年の間、多くの困難がありましたが、先人の方々が全力で乗り越えてきた結果、100年という長き年月を継続できたのだと思いました。100年続けることが目的ではなく、ちかいとおきてを実践し、全力で駆け抜けてきた結果の100年であると。現在、登録者数の減少という大きな課題に直面しておりますが、ボーイスカウト運動の真の目的、そして、ちかいとおきての実践を忘れず、一つひとつの課題に対して全力に取り組んでいけば、きっと結果はついてくると信じています。そして、200周年を迎えられるよう、しばらく生き抜いていきたいと思っています。



③11月27日 静岡新聞掲載



ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典の会場に到着し、関係者の出迎えを受ける天皇陛下、皇后陛下（中央）。皇太子殿下（左）、皇太子妃殿下（右）もご臨席された（代表撮影）

ボーイスカウトの式典に出席する中、自然と「ちかいとおきて」の精神を思い出し、自分自身も「ちかいとおきて」を実践しようという気持ちになりました。ボーイスカウトは、世界で活動しています。世界の中でどれだけ自己表現できるかということが、自分のスカウト活動をより良くしていくための近道だと、私は思いました。自分のスカウト活動にどんな意味があるのか、それをして自分がどう変わることができるのか、考えていきたいです。私は25WSJに参加します。世界中のスカウトと関わることで大きな経験となると思います。ボーイスカウトの「多様性」を活かして、ちかいとおきてをもとに、スカウト活動の輪を広げていきたいです。

三島第3団 代表菊スカウト 佐野 璃子

日本連盟100周年式典に参加しました。まず、会場での多さに驚かされました。自分がこんなに多くの人の集う団体に所属していることを、身をもって感じました。オープニングVTR、陛下や内閣総理大臣のお話などから、日本連盟が100周年に至るまでの社会との関わりを知ることができました。今まで私がスカウト活動をしてきた中でも、社会貢献になることがいくつかありました。これから活動するときも社会にとってどのようなはたらきができるか考えていきたいと思っています。最後に日本連盟総コミッショナーから、「多様性」と「自己表現」についてのお話がありました。ボーイスカウトは世界中で活動しています。世界の中でどれだけ自己表現できるかということが、自分のスカウト活動をより良くしていくための近道だと、私は思いました。自分のスカウト活動にどんな意味があるのか、それをして自分がどう変わることができるのか、考えていきたいです。私は25WSJに参加します。世界中のスカウトと関わることで大きな経験となると思います。ボーイスカウトの「多様性」を活かして、ちかいとおきてをもとに、スカウト活動の輪を広げていきたいです。

浜松第12団 代表富士スカウト 政木 萌那

今回、ボーイスカウト日本連盟創立100周年記念式典に参加することができ、大変嬉しく思います。

式典では、天皇皇后両陛下、岸田文雄内閣総理大臣をはじめ、たくさんのご来賓の方々と直接お会いすることができ、とても感動しました。オープニングVTRや日本連盟総コミッショナーによる記念講演からは、日本のボーイスカウト活動の歴史を知ることが出来ました。また、ボーイスカウト人口の減少やコロナ禍におけるキャンプ活動の制限などの様々な課題を乗り越えるべく、これからもより一層工夫を重ねた活動を展開する必要があると感じました。式典を通して、他の県代表スカウトとの交流がなかったことが少し残念でしたが、一生に一度しかないのである貴重な経験をすることが出来、有意義な一日となりました。



明治神宮会館内にて



## 「第25回世界スカウトジャンボリー」の カウントダウンがスタート!!



25WSJ静岡実行委員会 委員長 松田 茂

10月22日(土)、25WSJ日本派遣団B分団静岡1隊・2隊の「結隊式」が静岡市西部生涯学習センター・ホールにおいて開催され、来年8月にお隣の韓国で実施される25WSJに向けた準備が本格的にスタートしました。25WSJ日本派遣団として、静岡県連盟からは派遣隊2個隊80名(指導者8名・スカウト72名)・IST(国際サービスチーム=奉仕隊)5名の合計85名が参加します。

「結隊式」には村松理事長を始め県連役員8名、派遣隊指導者8名、スカウト51名、IST3名、参加スカウトが所属する原隊の指導者14名、保護者47名の合計128名が出席し、村松理事長より派遣隊指導者に委嘱状が手交されました。その後、1隊・2隊の隊長から各隊の参加スカウトが紹介され、結隊式を終了しました。

結隊式の後、保護者に対する説明会を行い、実行委員会からジャンボリーの概要・スケジュール・装備品などについての詳しい説明がなされました。派遣隊は、22日午後・23日午前にかけて「第1回事前訓練」を実施し、班編成や今後の訓練計画などを討議。

一生に1度しか経験出来ない世界ジャンボリー、を満喫出来るよう、万全の準備で臨んで欲しいと思います。



指導者に委嘱状が手交



各隊の参加スカウトが紹介



保護者に対する説明会



## 地区ラリーの感想 伊豆地区 伊東第5団 ボーイ隊 中野 太慥

10月30日に地区ラリーがありました。場所はMOA大仁農場でした。当日は、座標を求めたり方位の確認や、手旗をやりました。

手旗はしっかり覚えていないと、できないので難しいけど解説できた時は、とても楽しいです。次回の地区ラリーまでにもっとできるようになりたいです。また、今年行った、地区合同キャンプで過ごしたメンバーと久しぶりに会えたことがうれしかったです。



## 組で協力して

伊豆地区 伊東第5団 カブ隊 山田 蒼弥

SDGsを学ぶ、地区ラリーに参加しました。ぼくたちの団の「大声コンテスト」では、大きな声を出すだけでなく、声をのばしてみるか、高い声の方が良いか、など工夫しました。他には、世界中

のSDGsのクイズなどがむずかしかったけど、組で相談して正解できることが多くてすごくもり上がりました。ろ過そう置を作った時には、

じゃりや小石をつめて、かなりよごれた水を入れたのに、本当にとうめいな水が出てきてとても感動しました!



## 笑顔はじける地区ラリー

伊豆地区 三島第14団 カブ隊 隊長 伊藤 恵美

10月30日、大自然の開放的な空気の中、伊豆地区が誕生して初めてのイベントにあたる地区ラリーが、MOA大仁瑞泉郷で開催されました。

全9団、約340名の参加者は、「新たな仲間、新たな絆、みんなで作ろう大きな輪!」をテーマに、数年振りに会う顔や初めての仲間との交流を精一杯楽しみました。

ベンチャースカウト進行のセレモニーが終わると、ビーバースカウトはピクニックポイントラリーとハロウィーンの仮装を。カブ・ボーイスカウトはポイントラリーを回りながら得点を競い合いました。

中でもカブ部門は、SDGsを題材にし、水中の外来と在来生物の仕分け、自然に優しい行動とそうではない行い、地球に優しい食材選び、SDGsの17項目などを学びながら、騒音計を使ったゲームと間伐材をロープ結びで運ぶゲーム、簡易ろ過体験を組

対抗で行いました。

閉会式後の「初めての地区ラリーがんばったよ!」と誇らしげな、しかスカウトの顔がとても印象的でした。





# 第10回「若き指導者」



掛川第2団 ビーバー隊隊長  
橋本美加子

1年前の春の、突然の依頼。「橋本さん、隊長頼むよ。」それまで副長として隊長の補佐をしてきましたが、隊長なんて!私はボーイスカウト経験者ではありません。アウトドアの技術が豊富でもないし。私がビーバー隊長を引き受けるのは無理なのでは?迷った挙句に出した答えは、3人の息子がボーイスカウトにお世話になり、たくさんの指導者の方たちに育てていただいたのだから、非力だけど、他の指導者の方や保護者さんの力を借りながら、なんとかやってみよう!そういうわけで年齢としてはとても「若き」ではありませんが、指導者としては「若き」私の隊長としての1年目が始まりました。隊集会の計画書作成や準備、リーダー会や団員会の出席。家庭と仕事とボーイスカウト、3つをこなすのは、器用でない私にはなかなか難しいことでした。それでも、ボーイスカウト経験者の2人の副長に技術面で助けてもらい、隊集会の際には補助者さんや保護者さんの力をお借りし、困ったときは団員さんや団の他の隊の指導者さんに手伝ってもらい…何とかここまでやってきました。日々の活動の中で、悩むこともあります。隊集会になれば、スカウト達と一緒にプログラムを体験し、楽しんでいます。隊集会前の下見や会議も大変だけど、どうやったらスカウトが楽しんでくれるかな?と一人一人の顔を思い浮かべながら考えるのは楽しみでもあります。スカウト活動に参加していた私の兄弟は「ボーイスカウトで、色々な社会経験をさせてもらったのが、他の習い事より楽しかった。」と言っていました。スカウト達がこれからどんなふう to 育っていくかを楽しみに、みんなで子育てをするつもりで、ボーイスカウトのことを学びながら、関わっていけたらと思っています。



夏のキャンプ



総務・広報委員長の松田 茂が各界に幅広く聞くコーナー

Shigeru

Matsudaの

## 人物訪問

第3回

今回は「藤田電気株式会社  
代表取締役 藤田良彦」氏を  
お訪ねしました。

松田: 先ず藤田さんのスカウト活動の経歴について  
お聞かせ下さい。入隊された時期、所属され  
た団そしてどの隊で活動されましたか?

藤田: 入隊は1969年で団は藤枝第3団だったと  
思います。静岡鉄道の団で、ボーイスカウト隊  
でした。いまはもうありませんが当時の国鉄  
藤枝駅近くにあった静岡鉄道藤枝駅舎内(藤  
枝と大井川を結ぶ軽便鉄道の駅)の2階集会  
室に集まって活動していたことを思い出しま  
す。 そうそう、新静岡センターにあったスカ  
ウトショップにもよく行きましたね。中学校に  
上がるまでの2年間ほどの活動でした。

松田: スカウト活動で印象に残っていることは何で  
しょうか。楽しかったことや苦しかったことが  
ありましたらお話し下さい。

藤田: なんとと言っても忘れないのは朝霧高原で開催  
された1970年の「第5回日本ジャンボリー」  
と翌年の1971年「第13回世界ジャンボ  
リー」を見学に行ったことです。小学校6年の  
時でした、世界ジャンボリーでは今で言う熱  
中症でダウンして救護室に運ばれてしまいま  
した。人の多さにもびっくりした記憶もあり、  
今思いますとあまりの人の多さに人に酔ってし  
まったのかもしれませんが。それから、日本平  
のキャンプ場で何泊か野営をした事を思い出



【藤田良彦 略歴】

焼津市出身。焼津中央高校、大阪電気通信大学  
卒業後、マスプロ電工(株)を経て  
藤田電気株式会社入社  
藤田電気株式会社 代表取締役  
静岡電気工業組合 理事長  
静岡市商工会議所 議員 ほか

します。野営地の整備、炊事場などの設営や  
キャンプファイヤーなど隊のメンバーみんなで  
協力した楽しい思い出です。オリエンテーリン  
グで日本平を駆け回った事が印象深く、それ  
以後地図を見ることが好きになりました。

松田: スカウト活動で身に着けたスキルや経験が、  
社会人になって「スカウト活動をやっている良  
かった、役に立った」と思ったことがありまし  
たら、具体的な事例でお教え下さい。

藤田: 本当に短い期間の活動でしたが、小学校の  
キャンプなどでは火起こし炊飯など率先して  
行うことが出来て鼻高々だったことを記憶し  
ています。またロープワークはいろんな場面で



とても役に立ちました。社会人になってからもアウトドアが好きな友人がおりましたのでスキー、山登り、溪流釣りなどを積極的にやっていました。今考えるとスカウト活動を通して人とのコミュニケーション能力がつき、物怖じしなくなったことが非常に役立っていると思います。



松田:現在のスカウト運動、また若者についてどのような感想・印象をお持ちでしょうか。

藤田:子どもたちの時間が塾やクラブ活動などに消費されて自由な時間が無いように感じますね。ボーイスカウトならではの活動で自然に触れて、自然環境の大切さを学んで頂ければありがたいです。また社会人になると上司から注意されることもあるし、思うように上手くいかないこともあります。そうしたことをきちんと受け止めて自分のものにしていくためには素直な心を持っていることがとても大切だと思います。

松田:今活動しているスカウト、または指導者に伝えたいメッセージがありましたらお願いします。

藤田:私の持論ですが、どんなことにも「工夫」は必ず生きます。今までの経験は、未知の知らないことに興味を持つための布石です。こういうことをやりたいと思ったら、それを形にするために、ああでもないこうでもないといろいろな情報を繋ぎ合わせて形にしたいという熱意が必要なのです。そんな前向きな若者になっ

てくれることを期待します。指導者の方々ですが、いろんな所に危険が潜んでいるかもしれない野外でのスカウト活動では、安全確保のために配慮しなくてはならないことが多くてとても大変だと思います。頑張っている指導者の皆様のご努力にはほんとうに頭が下がる思いです。これからも活発なスカウト活動を続けて頂きますよう、宜しくお願いします。

松田:本日はいろいろなお話をお聞かせ頂き、有難うございました。



# アマチエア無線 JOTA臨時体験局運用



## 熱海第11団 団委員長 大山 正晃

昨年度交付されたアマチュア無線に関する電波法改正により、科学技術や無線技術に対する理解と関心を深めることを目的に無線従事者資格を持たない学齢児童生徒にアマチュア無線の運用を体験させる制度が出来ました。熱海第11団では総務省東海総合通信局のご指導を得て新制度による臨時社団局免許を県連で初めて取得し、10月14・15日のJOTAにおいて、特別コールサイン8J2YACにて伊豆地区三島5団、三島14団と共に体験運用を実施しました。体験に参加したスカウト達は自分の名前、学校名等が正確に伝えることが出来るよう交信前に和文通話表による電文送信の練習をしました。「鶴亀のつ」「千鳥のち」とか、古くさいなと言っていたスカウト達ですが交信相手が自分の名前をきちんと復

唱してくると、思わずにっこり。手旗信号とか和文通話表とか古くさい手段がデジタル時代でも役に立つことを実感しました。日本連盟本部局JA1YSSに「ボクはくまスカウトです。」と報告したカブには、本部から「もう少してボーイ隊上進だね。スカウト活動頑張っ

てね」と激励され「頑張ります!」と大きな声で返信しました。

その他全国各地の参加局20局以上と無線での「弥栄!」交歓をしました。夕暮れが迫ってくると電離層反射(F層)の伝播状況が変化し、短波帯では国内の局が徐々に聞こえなくなり、英語、スペイン語などの通信が聞こえてきます。スカウト達には夕刻の昼半球から、夜半球への移行の変化を耳で感じて貰う事も出来ました。海外はJOTA局ではインドネシア、オーストラリア、それ以外ではチリ、アルゼンチン、イタリア、ドイツと交信しました。







## 各章に向かって、がんばろう!! 受章者を紹介致します

●**1級スカウト章**は高度なスカウト技能や、宿泊を伴うプロジェクト運営、地域への貢献や後輩への指導ができます。

| 地区名 | 団名    | 隊      | 氏名     | 進級年月日       | 地区名   | 団名     | 隊      | 氏名      | 進級年月日       |
|-----|-------|--------|--------|-------------|-------|--------|--------|---------|-------------|
| 伊豆  | 三島第5団 | ボーイ隊   | 片山 碧   | 2022年8月7日   | 沼津    | 清水町第7団 | ボーイ隊   | 内田 拓実   | 2022年8月20日  |
| 伊豆  | 三島第3団 | ボーイ隊   | 齊藤 颯斗  | 2021年12月5日  | 沼津    | 清水町第7団 | ボーイ隊   | 岡田 愛    | 2022年8月20日  |
| 伊豆  | 三島第3団 | ボーイ隊   | 久原 誠仁  | 2021年12月5日  | 沼津    | 清水町第7団 | ボーイ隊   | 角田 朔音   | 2022年8月20日  |
| 伊豆  | 三島第3団 | ボーイ隊   | 野極 璃響  | 2021年12月5日  | 沼津    | 清水町第7団 | ボーイ隊   | 松山 龍太郎  | 2022年8月20日  |
| 伊豆  | 三島第3団 | ボーイ隊   | 間瀬 友啓  | 2022年5月15日  | 沼津    | 清水町第7団 | ボーイ隊   | 渡邊 夏希   | 2022年8月20日  |
| 伊豆  | 大仁第1団 | ボーイ隊   | 山崎 一乃  | 2022年11月20日 | 浜松    | 浜松第12団 | ボーイ隊   | ケーラー 一郎 | 2022年9月25日  |
| 伊豆  | 大仁第1団 | ボーイ隊   | 矢田 久尚  | 2022年11月20日 | 浜松    | 浜松第12団 | ボーイ隊   | 山田 惇介   | 2022年10月19日 |
| 伊豆  | 大仁第1団 | ボーイ隊   | 矢田 伊吹  | 2022年11月20日 | 浜松    | 浜松第12団 | ベンチャー隊 | 碓氷 梓結   | 2022年9月2日   |
| 伊豆  | 大仁第1団 | ベンチャー隊 | 平井 拓実  | 2022年11月20日 | 御殿場小山 | 御殿場第6団 | ボーイ隊   | 野木 光輝   | 2022年6月5日   |
| 沼津  | 沼津第1団 | ボーイ隊   | 市川 聡健  | 2022年7月16日  | 磐田    | 磐田第3団  | ボーイ隊   | 蔵元 朝日   | 2021年11月7日  |
| 沼津  | 沼津第1団 | ボーイ隊   | 田久保 壮祐 | 2022年7月16日  | 磐田    | 磐田第3団  | ボーイ隊   | 中西 真寛   | 2022年6月19日  |

●**菊スカウト章**は高度なスカウト技能の他、ボーイスカウト隊の中の活動で、ボランティア活動や野外活動での更なるスキルが認められたスカウトです。

| 氏名    | 地区名 | 団名     | 認証日        | 認証番号 | 氏名    | 地区名 | 団名     | 認証日         | 認証番号 |
|-------|-----|--------|------------|------|-------|-----|--------|-------------|------|
| 井口 詩乃 | 伊豆  | 三島第5団  | 2022年5月14日 | 2909 | 石見 優縁 | 伊豆  | 三島第5団  | 2022年10月18日 | 2917 |
| 野寄 航佑 | 浜松  | 浜松第12団 | 2022年6月3日  | 2910 | 布施 寛和 | 浜松東 | 浜松第21団 | 2022年10月18日 | 2918 |
| 谷本 真幸 | 浜松  | 浜松第12団 | 2022年6月3日  | 2911 | 山口 萌  | 浜松東 | 浜松第24団 | 2022年10月18日 | 2919 |
| 佐野 璃子 | 伊豆  | 三島第5団  | 2022年6月3日  | 2912 | 長江 晴史 | 浜松東 | 浜松第24団 | 2022年10月18日 | 2920 |
| 加藤 健  | 島田  | 金谷第1団  | 2022年6月18日 | 2913 | 鈴木美菜佳 | 静岡  | 静岡第22団 | 2022年11月8日  | 2921 |
| 木下 紗那 | 浜松東 | 浜松第22団 | 2022年7月9日  | 2914 | 鈴内 彩花 | 静岡  | 静岡第26団 | 2022年11月8日  | 2922 |
| 横井 麻優 | 浜松  | 浜松第19団 | 2022年9月9日  | 2915 | 松岡 響樹 | 清水  | 清水第19団 | 2022年11月8日  | 2923 |
| 稲村 亜弥 | 静岡  | 静岡第10団 | 2022年10月1日 | 2916 |       |     |        |             |      |

●**隼スカウト章**はスカウト技能を十分に役立てることができ、ジュニアリーダーとしての基本的な隊運営の知識を有し、健全な体と精神を身につけたスカウトです。

| 氏名    | 地区名 | 団名     | 認証日       | 認証番号 | 氏名    | 地区名 | 団名     | 認証日       | 認証番号 |
|-------|-----|--------|-----------|------|-------|-----|--------|-----------|------|
| 鈴木 俊也 | 志太  | 大井川第3団 | 2022年7月9日 | 144  | 雪山 佳寛 | 浜松東 | 浜松第30団 | 2022年9月7日 | 146  |
| 海野 恭丞 | 静岡  | 静岡第22団 | 2022年7月9日 | 145  | 西塚 明里 | 浜松  | 浜松第12団 | 2022年9月9日 | 147  |

●**富士スカウト章**とは、ボーイスカウト日本連盟のベンチャースカウト年代(高校生年代)において最高位のスカウトに与えられる章です。富士スカウト章のキーワードは『リーダーシップ』です。  
「プロジェクトの計画・実施・報告ができ、奉仕の精神と社会の一員としての責任を持ち、社会貢献を果たせるスカウト」です。

| 氏名    | 地区名 | 団名     | 認証日        | 認証番号 | 氏名     | 地区名 | 団名     | 認証日         | 認証番号 |
|-------|-----|--------|------------|------|--------|-----|--------|-------------|------|
| 政木 萌那 | 浜松  | 浜松第12団 | 2022年7月17日 | 4191 | 柴田 夏帆  | 静岡  | 静岡第22団 | 2022年10月1日  | 4211 |
| 小森聡太郎 | 静岡  | 静岡第14団 | 2022年9月10日 | 4196 | 岡本 康佑  | 静岡  | 静岡第22団 | 2022年10月1日  | 4212 |
| 富田 結衣 | 静岡  | 静岡第22団 | 2022年10月1日 | 4209 | 大場 隼太郎 | 静岡  | 静岡第14団 | 2022年10月25日 | 4219 |
| 金丸 環  | 静岡  | 静岡第22団 | 2022年10月1日 | 4210 |        |     |        |             |      |

ボーイスカウトの進歩制度とは、スカウトの成長の目標となる課目を設定し、進級というステップで、スカウトが発達段階に応じて成長できるようにした制度です。ボーイスカウト隊に入隊するとまず初級スカウト章を取得して段階的に進級を進めます。



## いつも元気だっ! ビーバーだより

### カヌーたいけんをして

磐田地区 袋井第4団ビーバー隊 下田 ゆうか

わたしは、ボーイスカウトに入りたいしてから、一ばん心  
にのこったのはカヌーたいけんです。

わたしは、カヌーにのるのがはじめてだったので、の  
れるかふあんでした。

まず、手のうごかしかとカヌーののりかたをおしえて  
もらいました。

わたしが、むずかしいとおもったのは、手のうごかし  
かたです。右にうごかすと左にまがるので、それに気を



つけながらやりました。

さいしょは、おかあさんといっしょにのりました。のって  
いるうちになれてきたので一人でものってみました。

グラグラしておもうようにすすめなかったけど、川のな  
がれにのるのがたのしかったです。

また、カヌーにのるきかいがあったらうれしいです。

### おんなの子募集中!!

富士宮地区 富士宮第25団 ビーバー隊 平山真依子



わたしは、ビーバーたいの  
中で女子一人だけです。た  
いしゅう会のある朝は、行きた  
くない、と言ってなるべく行き  
たくないです。なぜかという  
と、あそぶ子がいないからです。

この前、25だんの15しゅう  
年のおまつりがありました。

小学生がいっぱいあそびに来てくれて、みんなでにん  
じゃのかっこうをしました。竹の水てっぽう、ストローのふき  
矢、つなわたり、すずに当たらないように歩いたり、目  
をつぶって森を歩いたりしました。やさそばや、おもち、とん  
じるもみんなで食べておいしかったです。

やめたいな、と思っていたけど、楽しかったです。女の  
子が入ってくれるともっとうれしいです。



## カブつうしん CUB SCOUT

### スーパーカブに、なるまでの道

伊豆地区 三島第5団 カブ隊 酒井 汐梨



わたしが、なぜスーパーカブ  
になろうと思ったかという  
と、姉が、スーパーカブをとって  
いて、(わたしも、絶対スーパー  
カブになろう)、と思ったとい  
うことと、スーパーカブは、がんば  
った人にしかとれないんだ、と、  
思ったからということです。

わたしは、チャレンジ章を  
やっていて、とある、かべにぶ  
つかりました。それは、気しょう学者の、1ヶ月間、新聞に  
出てくる、天気図を切りぬいて、まとめる、というものです。  
最初は、うまくすすめることができましたが、とちゅうから、  
まとめる作業が、いやになってきました。しかし、わたしは、  
(このかべをのりこえないと、スーパーカブにはなれない  
んだ、絶対にやろう)、と思ってそのかべを、のりこえるこ  
とができました。わたしから、うさぎやしかしカウトに、一言  
アドバイスを、するとしたら、何かのかべに、ぶちあたって

しまっても、ネガティブな考えではなく、ポジティブな考え方  
にすると、こえられなかったかべも、こえることができます。  
スーパーカブを目指す人たちも、どんなかべにぶちあたっ  
てもあきらめないで、がんばってください。

### スーパーカブになって

伊豆地区 三島第5団 カブ隊 佐野 優太



ぼくは、スーパーカブになっ  
て学んだことや、思ったことは、  
二つあります。

一つ目は、いろいろなけい  
験ができたことです。自転車  
博士では、初めて長きよりサイ  
クリングをしました。他にも、料  
理家や、自分でワッペンをつ  
ける、アイススケート選手など日

常で役に立っている物もあります。

二つ目は、コロナ禍でも、スーパーカブがとれてホッ  
としたことです。コロナ禍だったけれども、旅行家や、キャン  
パー、フィッシャーマンなどのむずかしいチャレンジ章もと  
れました。

スーパーカブをとれたのは、回りの人たちが助けてく  
れたからだと思います。家族や隊長、副長、デンリダーな  
どの支えてくれた人には感謝しています。正直めんどくさ  
いと思ったりした時もありましたが楽しいこともあってスー  
パーカブをとってよかったなと思います。



## カブ集会に参加して

富士地区 富士第11団 カブ隊 田渕 巴葉



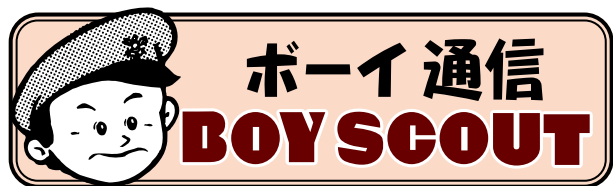
私は、富士地区のカブ集会に参加しました。

第11団の仲間と一緒に、ウォークラリーをしました。いろいろなチェックポイントに行き、クイズをして数字を探しました。いつも車で通る場所を始めて歩きましたが、地図を見ながら、みんなで力を合わせてがんばりました。数字を探す所は、神社や道にある石碑などでした。難しい漢字もたくさんあり、少し迷ってしまう事もありました。

それでもみんなで一生懸命歩き、早くゴールできた事と、全問合っていたことが、とてもうれしかったです。

今回は、コロナのせいで、他団のスカウト達と一緒にできなかった事が残念でした。次回は、他団のスカウト達と一緒にやって、たくさんのお友達を作りたいです。

これからも、みんなで楽しくいろいろな事に挑戦していきたいです。



## 自然体験あそびに参加しました

御殿場・小山地区 小山第4団ボーイ隊 小見山直歩

自然体験あそびは、これからボーイスカウトに入っていく方にボーイスカウトはどのようなものかを体験してもらうイベントです。ぼくは先頭に立って道案内をしました。

最初はどのように接したらいいのかわからないのもあり緊張したけど、やっていくうちにだんだん慣れてきて、自分も楽しく道案内ができました。それぞれの団で違う遊びだったので、より楽しく過ごせました。最後はみんなで焼き芋を食べました。熱かったけどとてもおいしかったです。この日は富士山もきれいで晴天だったのでその楽しむことができました。



## 指導者だより

### 貴重なジャンボリー体験

沼駿地区 長泉第2団 ボーイ隊 隊長 田中 寛

今年開催された 18NSJ-TS はコロナ禍の影響で地方開催が中止になり、地区と各団で工夫を凝らした活動を実施しました。これまでのジャンボリーであれば、9月に報告会と解隊式を実施し派遣隊の活動は終わっていました。しかし、本大会では期間中に飾ることができなかった「サイトゲート」の完成や4つの班で磨いた野営技能を披露するはずだった班旗立てや火熾しゲームを成し遂げるため、9月以降もオンライン班会議や班集会を実施しました。

その成果を10月24日の隊集会で披露し、結隊式から6ヶ月に渡る隊活動に終止符を打つことができました。この期間中スカウトたちは、これまでのジャンボリーにない貴重な体験をすることができました。

8月の個で実施したオンラインキャンプでは、仲間と活動することの大切さを知り、9月以降は多忙の中、班集会等を実施し、班員と協同しながら練習を繰り返し、班の絆を深めることができました。中止の「負」はスカウトの成長に繋がった事を実感しました。



### コロナ禍の活動状況

清水地区 清水第8団 団委員長 橋本 健治

コロナもまだまだ収束しない状況です。今後の団活動につきましては自粛することも必要と考えますが、団の方針として安全対策を充分検討し活動することにしました。8月に計画した夏季キャンプはコロナを考慮して延期し9月に実施予定でしたが、前日の台風による大雨の影響により中止。翌日「スカウト奉仕の日・清掃奉仕を日本平運動公園ゴミ拾いにしましたが土砂崩れで通行止めのため中止。10月の8団農園でのサツマイモ畑の収穫祭は芋の成長が良くないため1週間延ばしました。正直前年に比べて大きくありませんでしたが大量に収穫できたことで、スカウト・保護者へのお土産が出来ました。11月20日ワクワク自然体験を実施し、6組の参加者でした。落葉を拾い集め、しおりの作成しました。一般参加者はもちろんのこと、スカウト達もそれぞれの思い一杯、素晴ら



いいしおりを作ることが出来ました。当日の後半では凧作り工作を行い、出来上がった凧を揚げて楽しみました。これからの行事として11月にクリスマス用リース作り集会、12月には餅つき集会、クリスマス集会、年末から元旦にかけてはボーイベンチャー隊の耐寒野営訓練、元旦は初日の出集会を計画しています。

## 非日常下の団キャンプ

浜松地区 浜松第7団 団委員長 白井 章

突然襲われた新型コロナ禍から2年半、非日常が日常になりつつあります。小中学校の「感染対策マニュアル、日本連盟の「感染拡大予防ガイドラインに従って団の感染予防策を策定し、スカウトたちの充実した活動を維持するために、状況に応じて出来るだけ前向きに実施して行く、という方針で団を運営してきました。

コロナ禍前までは、毎年恒例として2泊3日or1泊2日の団キャンプを団全体行事として実施してきましたが、未だ収まらないコロナの為今年度も大人数の宿泊、食事を伴わない日帰りデイキャンプに変更して

実施しました。今年は地元太田山野営場の「太田山七福神」をテーマに、想定文「新型コロナで営火が無くなり弱った火の神の力を復活させろに設定、山の中を歩き回って六福神のポイントでゲームを完遂し絵馬を集め、火の神(写真の私です)の待つ営火場に集結し営火を行いました。明るい昼間の営火の為に祭壇と松明2本を立て、皆の力で復活した火の神が見守る中、団全体でスタンツを楽しみました。闇の中で行う夜の営火の雰囲気は味わえませんが、楽しい時間になりました。デイキャンプは時間が限られる分、それなりに充実した活動(少しせわしない)ではあります。来年は新型コロナが収まり、以前のように宿泊や食事を伴うキャンプが出来る事を切望しています。



## 富士スカウト章を受章した小森君に校長先生から御祝いのお言葉をいただきました



静岡第14団 ベンチャースカウト  
小森 聡太郎  
(科学技術高校 情報システム科3年)

科学技術高校のホームページで紹介されました本校生徒がボーイスカウト高校生年代最高位の章を与えられました。本校情報システム科3年の小森聡太郎さんが、ボーイスカウト日本連盟のベンチャースカウト年代(高校生年代)において最高位の「富士スカウト章」を与えられました。

小森さんは、小学1年生のときに友人に誘われてボーイスカウトの活動を始めました。以来、勉学とボーイスカウトの活動を両立させ、名誉ある章を受けることになりました。卒業後は大学に進み、さらに研鑽を重ね、活動を続けていくそうです。

静岡県立科学技術高等学校 校長 小野 聡

### 保護者コメント 小森 桂子

今まで多くの仲間を支えられ、素晴らしい指導者にも恵まれ、みなさんのお陰でここまで来ることが出来ました。感謝の気持ちでいっぱいです。4月からは県外の大学に進学し、静岡を離れますが大学ローバーとしてこれからも頑張って欲しいです。



## おめでとう!! 7名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

### 令和4年11月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・広報委員会

| 氏 名       | 地 区 | 所 属             | 氏 名         | 地 区 | 所 属               |
|-----------|-----|-----------------|-------------|-----|-------------------|
| 加 藤 瑛 汰   | 伊 豆 | 三島第14団 BVS 隊    | 室 伏 祐 太 朗   | 伊 豆 | 大 仁 第 1 団 C S 隊   |
| 鶴 谷 桃 子   | 伊 豆 | 三島第14団 BVS 隊    | 神 田 実 侑     | 伊 豆 | 三島第14団 C S 隊      |
| 鶴 谷 耕 太 朗 | 伊 豆 | 三島第14団 B S 隊    | 松 井 俐 人     | 沼 駿 | 長 泉 第 2 団 C S 隊   |
| 池 田 惟 吹   | 伊 豆 | 大 仁 第 1 団 C S 隊 | 小 野 田 幸 志 郎 | 静 岡 | 静 岡 第 2 2 団 BVS 隊 |



# 大仁第1団、令和4年度「青少年団体等の顕彰」

日時: 11月27日(日) 場所: 袋井市メロープラザ多機能ホール

静岡県青少年会議(会長:川勝平太)の令和4年度「青少年団体等の顕彰」表彰式が行われ、ボーイスカウト静岡県連盟大仁第1団が表彰されました。

50年以上にわたり、日常的に活発な活動を維持し、地域の青少年育成に貢献していることが高く評価されました。



大場規之袋井市長より  
表彰される土山惟之団委員長へ



## マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された「スカウト活動の記事」を紹介します。

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。  
詳しくは県連事務局まで

**新たな仲間と交流**  
BS伊豆地区9団がラリー  
伊豆地区の9団が、伊豆半島の自然を満喫しながら、交流を深めるラリー活動を行いました。参加者は、伊豆半島の美しい風景を堪能し、互いの団の活動について話し合いました。

令和4年10月31日(月)  
伊豆日々新聞 掲載

**サバイバル術体験会**  
伊豆地区の各団で、サバイバル術の体験会が行われました。参加者は、野外での生存術や、自然の恵みを利用した調理法などを学びました。

令和4年9月14日(水)  
中日新聞 掲載

**「赤い羽根募金協力を」**  
BS第5団が街頭活動  
BS第5団のメンバーが、街頭で赤い羽根募金の協力を呼びかけました。参加者は、市民の方々に声をかけ、募金活動を行いました。

令和4年10月24日(月)  
伊豆新聞 掲載

**BS第5団 難民支援へ収集 古着273着 託す**  
BS第5団のメンバーが、難民支援のために古着を収集しました。収集した古着は、273着に達し、支援団体に託されました。

令和4年10月24日(月)  
伊豆新聞 掲載

**大仁第1団を顕彰**  
ごみ拾いや桜の植樹続ける  
大仁第1団のメンバーが、地域の環境美化のためにごみ拾いや桜の植樹活動を行いました。この活動は、地域の美化と桜の保全に貢献しています。

令和4年12月10日(土)  
伊豆日々新聞 掲載

**無線で各地と交流**  
ボーイスカウト浜松東地区  
ボーイスカウト浜松東地区のメンバーが、無線で各地と交流を行いました。参加者は、無線の魅力を体験し、各地の状況を把握しました。

令和4年10月18日(火)  
静岡新聞 掲載



# おしらせコーナー

## 《定型訓練》

### ボーイスカウト講習会 静岡第628回 沼駿

- 日 時: 令和5年1月22日(日)
- 場 所: 沼津市原地区センター
- 申込み: 1月8日(日)まで  
沼駿地区指導者養成委員長 佐藤清子 必着

### ボーイスカウト講習会 静岡第629回 富士

- 日 時: 令和5年3月12日(日)
- 場 所: 富士市教育プラザ
- 申込み: 2月26日(日)まで  
富士地区事務長 必着

### ボーイスカウト講習会 静岡第630回 静岡

- 日 時: 令和5年3月12日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 2月26日(日)まで  
静岡地区指導者養成委員長 北村誠 必着

### 日本連盟トレーナー 研究集会静岡会場

- 日 時: 令和5年2月5日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 1月21日(土)まで  
県連盟事務局 必着

### 第2回ベンチャー スカウトフォーラム

- 日 時: 令和5年1月29日(日)
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 1月13日(金)まで  
県連盟事務局 必着

### 令和5年度 障がい児 スカウティング研修会

- 日 時: 令和4年2月26日
- 場 所: 静岡県青少年会館
- 申込み: 1月31日(火)  
県連盟事務局 必着

## 《全国調査実施中》

- 令和4年度の全国調査実施中です。令和5年2月末までに団・隊の入力を願います。

## ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎054-255-6185) まで  
ホームページもご覧ください。 <http://bs-shizuoka.com>

### 編集 日記

この夏のそれぞれのジャンボリー後、新型コロナウイルスへの脅威は無くならないものの、各地区の団・隊の活動は秋のキャンプ、地区大会、わくわく自然体験、個々の募集活動とほぼコロナ以前に戻って参りました。本年8月には韓国で25WSJが催されます。2023年もモチベーションを高く持ち、充実したスカウト活動を行っていきましょう。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2023年1月  
発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟  
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1  
県青少年会館内  
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186  
<http://bs-shizuoka.com>  
編集責任者 総務・広報委員長 松田 茂  
刷 三富印刷株式会社  
静岡県浜松市東区上新屋町 30-1 TEL053-467-4678  
発 行 部 数 3,030部